

上越タイムスのご購読は
フリーダイヤル 0120
17-4243

糸魚川

糸魚川支局 / 〒941-0067糸魚川市横町2-4-8
TEL 025-550-1360 FAX 025-550-1361

身近な情報
話題を
お寄せ下さい

No.1
井手塾
東進衛星予備校

出雲大社へ作品奉納

奴奈川姫などを題材に創作活動を行う上越市の日本画家、川崎日香湊さん(37)の作品が11月8日、島根県の出雲大社に奉納されることとなった。奉納を前に14日から26日まで、糸魚川市の青海総合文化会館で公開されている。

奴奈川姫に魅せられた川崎さんは大國主命の求婚や、豊子と豊野皇親訪大社の系神の建御名方命との姿など、姫とその周辺の世界を描いている。2011年に大國主命の地元島根県で個展



出雲大社に奉納する作品を前に、川崎さんと「奴奈川姫」展・諏訪・越を越え「スパンパー」

古事記の世界 パネル画に

26日まで 青海総合文化会館で公開

上越市の日本画家
川崎日香湊さん

を聞き、今年6月に諏訪大社に作品を奉納する予定にしている。奉納は島根県での個展の際に知り合った同県安来市の和紙工芸作家、野崎ふしむさの尽力で実現した。奉納する作品は「神在月・高志の国から出雲へ」。島根県の個展では左半分のみ出展し、その後完成したら、4

川崎さんは「豊さんの思いを出雲に伝え、高志の国にこんな素晴らしい文化があることを伝えたい」と意気込みを話した。

は1・8坪の大パネル画が150枚ある。神在月には出雲にまつては父国が神々が集まる「神在月」。そこに高志の国(新羅)から奴奈川姫のみ霊を収めた神輿(みこし)が向かう姿を描いた。行列には稚児や薩土、ヒスイや越後上布をききけた女房が並ぶ。雅俗の衣装や神輿の細部は能生白山神社のものも参考にしており、ヒスイの彩は本物のヒスイを使用している。川崎さんの活動を支援し、古事記がたくなく出雲、諏訪との交流を進めるために糸魚川で「奴奈川姫」展・諏訪・越を越え「スパンパー」(黒石孝会長)が結成された。11月下旬には出雲と地域の交流会を予定している。

こよみ

平成27年9月15日(火)

仏滅 旧暦8月

1000年の昔、上越地域のフシチヨウがオランダ船外に迎撃し、アイアンハロー大砲で機手を撃つ。シロイソグサの葉を乾燥させたものを、

日本入	10:00
出雲大社	10:00
諏訪	10:00
越後	10:00